

その他報告事項

(1) オンラインモニタリング装置の停止について

1) オンラインモニタリング装置の目的

オンラインモニタリング装置（以下「OLM」という。）は、設備の稼働に伴う排出ガスについて環境への排出を安全側に管理し、また、設備の稼働が適正な状態にあるかの監視及び作業環境を監視し作業員の健康確保を目的として、排出ガス中のPCB濃度を連続して測定してきたものです。

その運用として、安全作業マニュアルを整備して下記の基準値を設定して維持管理値を超過することがないよう確実に取組を進めてきました。

PCB濃度管理基準値	対応
第1警報 (0.02 mg/m ³ N)	現場の状況確認と適切な是正処置
第2警報 (0.08 mg/m ³ N)	該当する設備の停止も含めた対応

※維持管理値：0.1 mg/m³N、自主管理目標値：0.01 mg/m³N

2) オンラインモニタリングの状況

オンラインモニタリングの状況については、**図-1、2**のとおり営業物の処理終了後の2024年度は、自主管理目標値を下回る数値で推移しています。

(注) オンライン測定装置開発メーカーに確認したところ、定量下限値は全PCB0.01 mg/m³Nとしている。

3) 排出源モニタリング及び作業環境の状況

高濃度PCB廃棄物の処理を行っていた期間を含む過去2年間の排出源モニタリング測定（オフラインモニタリング）では、最大値が0.00036 mg/m³N(*1)であり、自主管理目標値(0.01 mg/m³N)を大幅に下回る数値で推移しています（**前掲資料1-2 表-3-1、2**）。

また、自主測定箇所も含め過去2年間の作業環境測定（オフラインモニタリング）では、最大値が0.0027 mg/m³(*2)であり、PCB濃度管理基準値の第1警報以下で推移しています（**前掲資料1-2 表-8**）。

*1 R5.11 東棟⑨レベル2 換排気局所排気

*2 R6.6 西棟 大型解体室

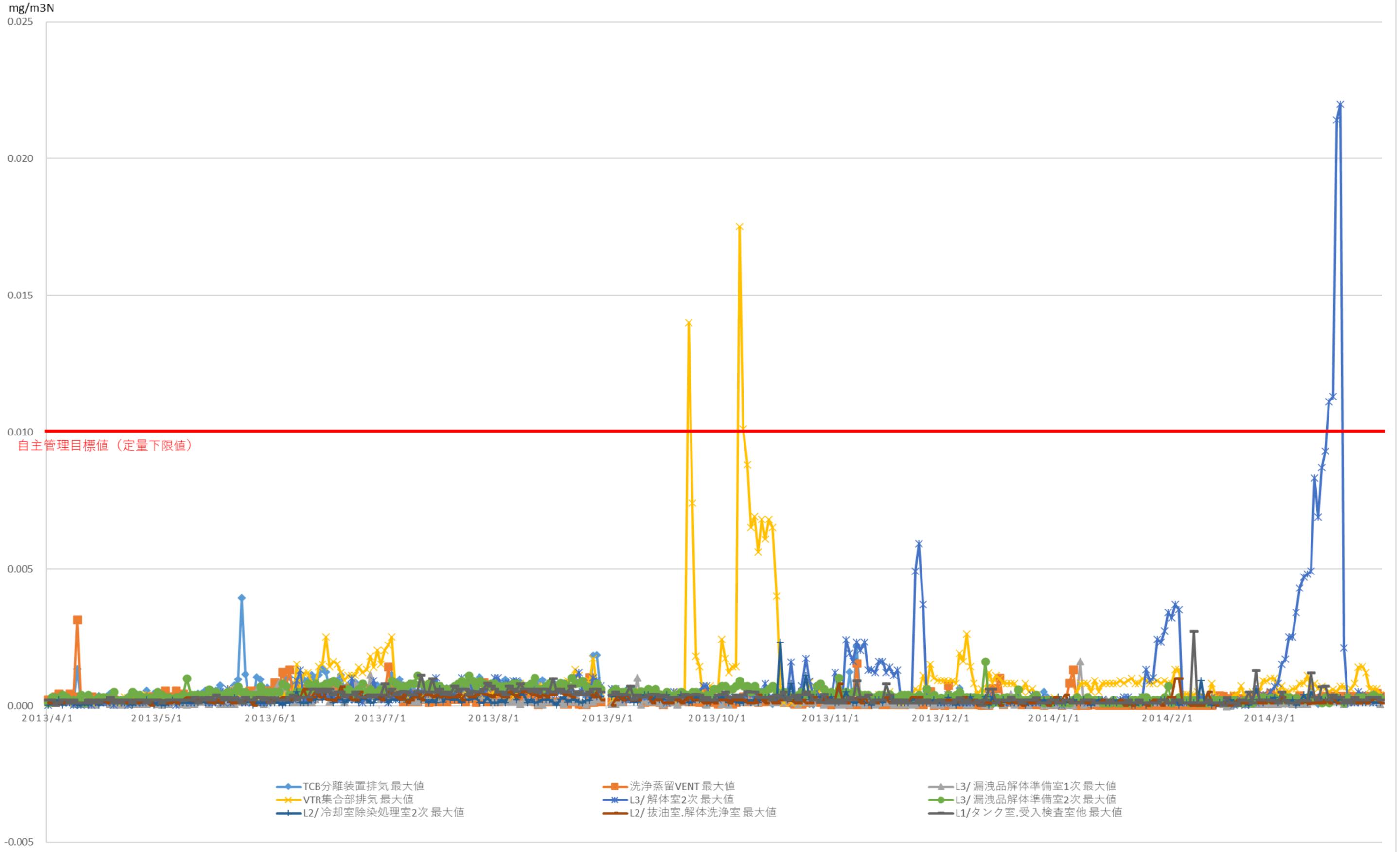
4) 今後の対応

高濃度PCB廃棄物の処理が既に終了した東棟の中間処理設備、液処理設備のほか、現在稼働中の西棟の真空加熱分離設備（VTR）も令和8年3月末までに解体撤去物の無害化処理を終えて稼働を停止することから、各設備からの排気ラインを閉止したうえで、令和8年度からOLMの運用を停止することとします。（**図-3**）

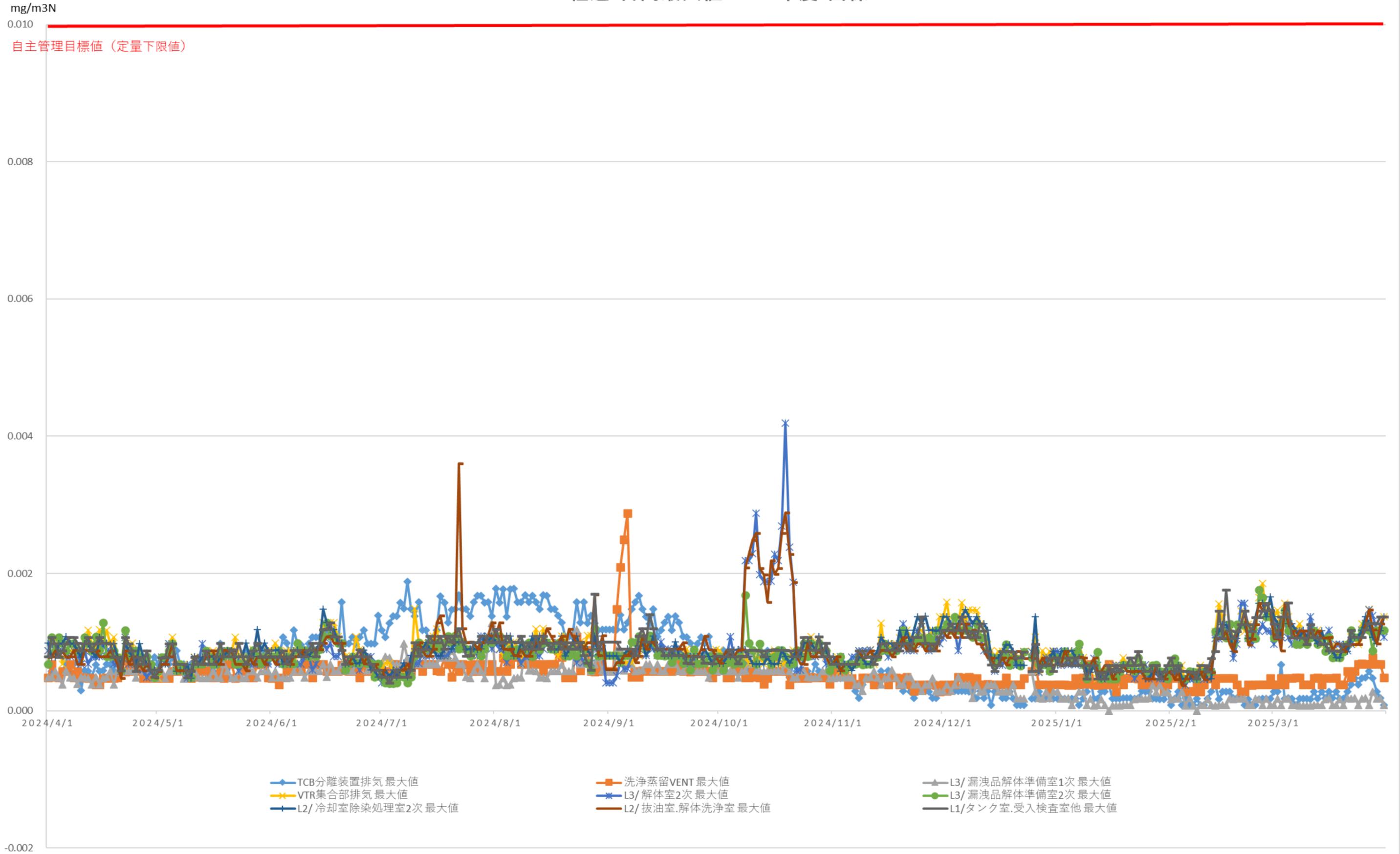
（別添OLM概略系統図参照）

なお、作業空間の換排気に係るOLMについても運用を停止することとしますが、非定常の解体撤去作業に係る換気については引き続きオフラインモニタリングを実施しPCB濃度の管理を継続します。

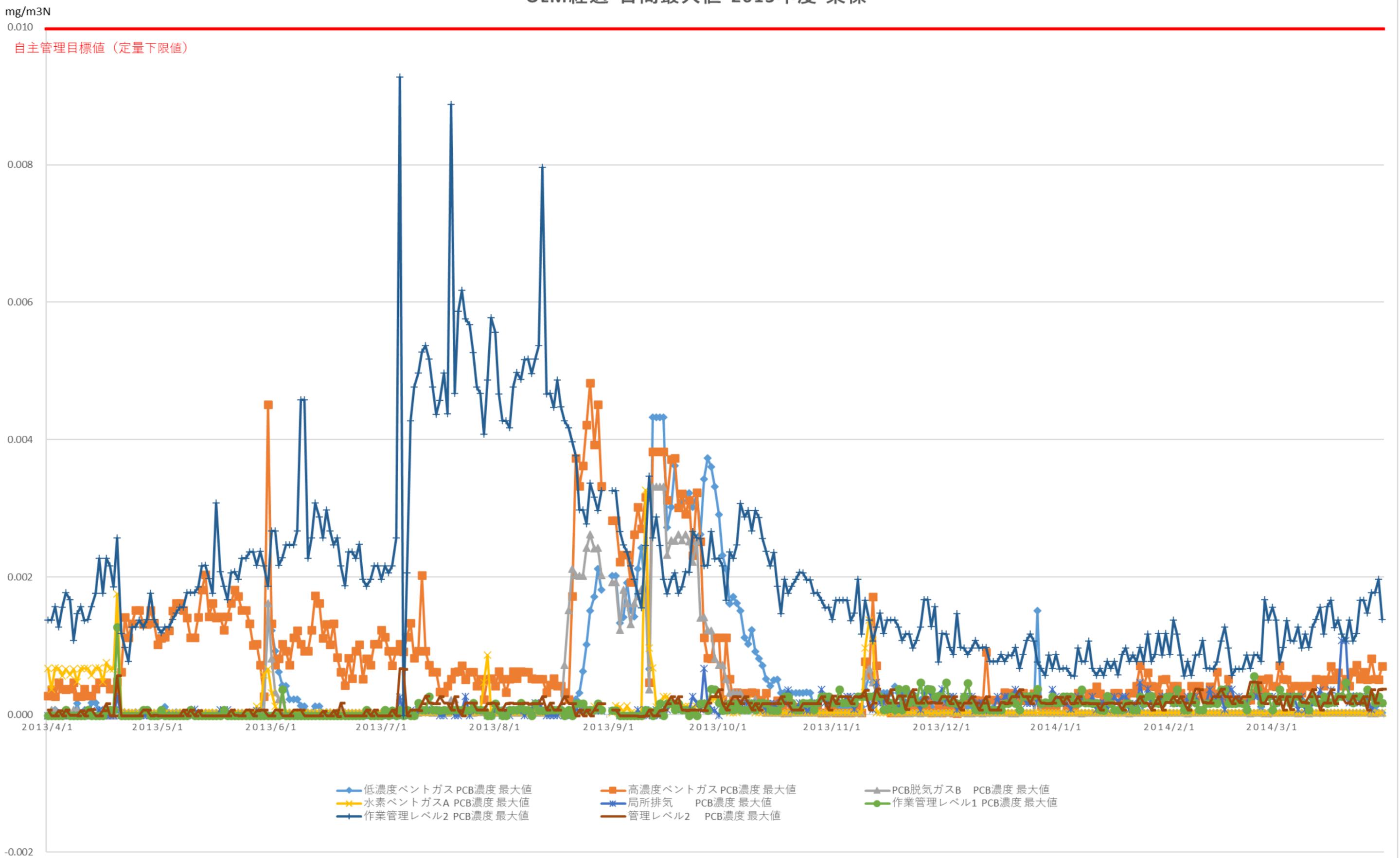
OLM経過 日間最大値 2013年度 西棟



OLM経過 日間最大値 2024年度 西棟



OLM経過 日間最大値 2013年度 東棟



OLM経過 日間最大値 2024年度 東棟

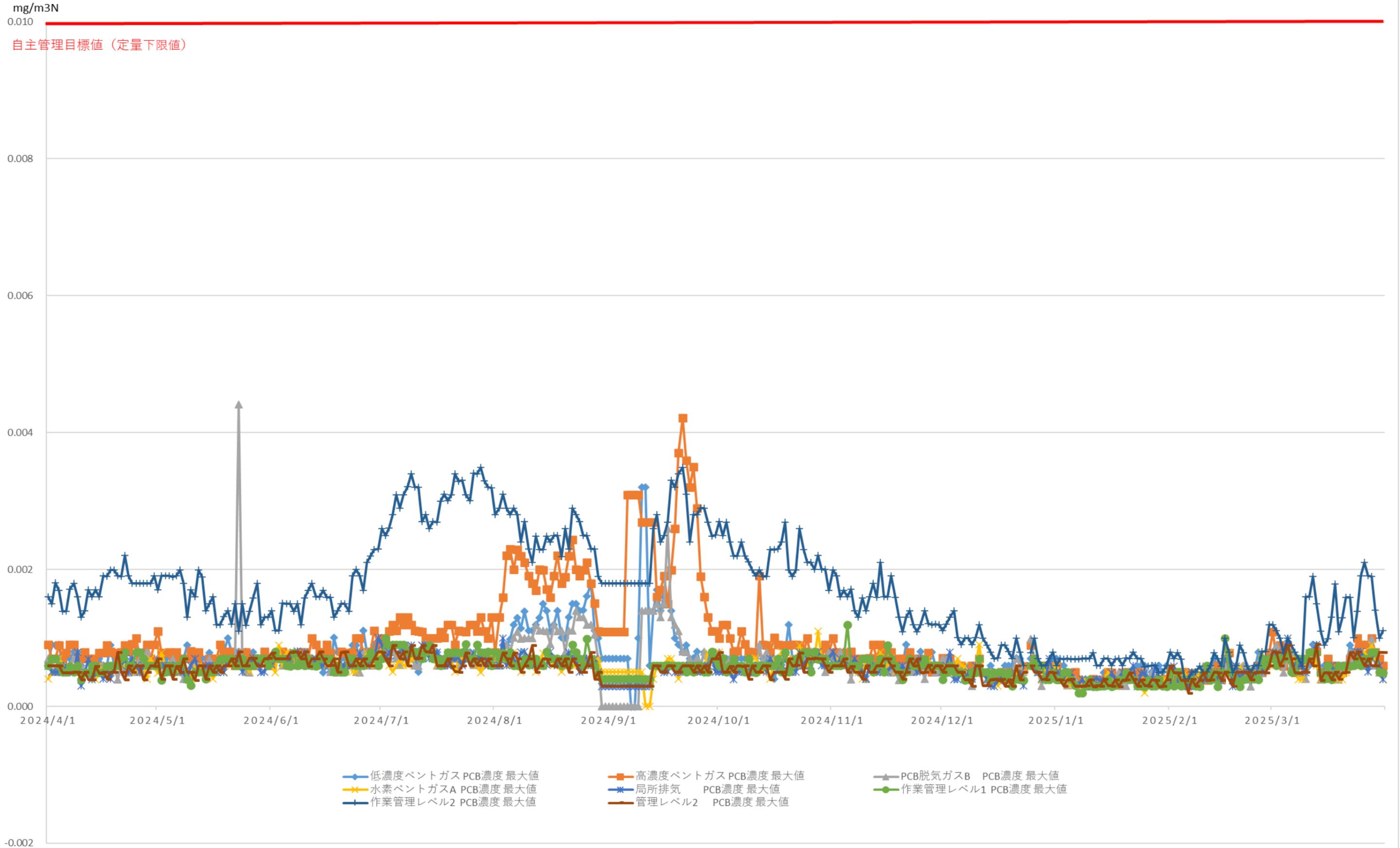
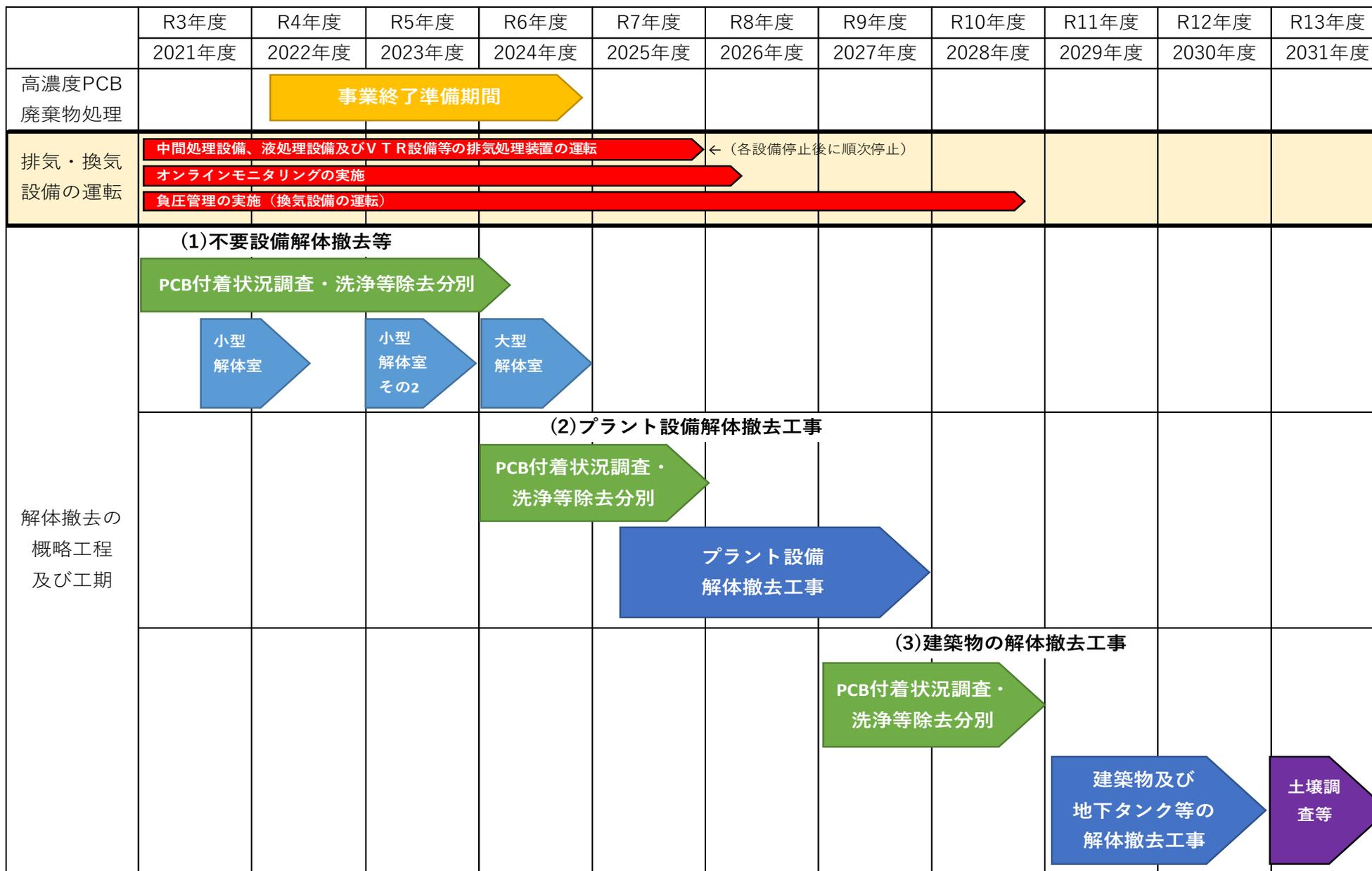
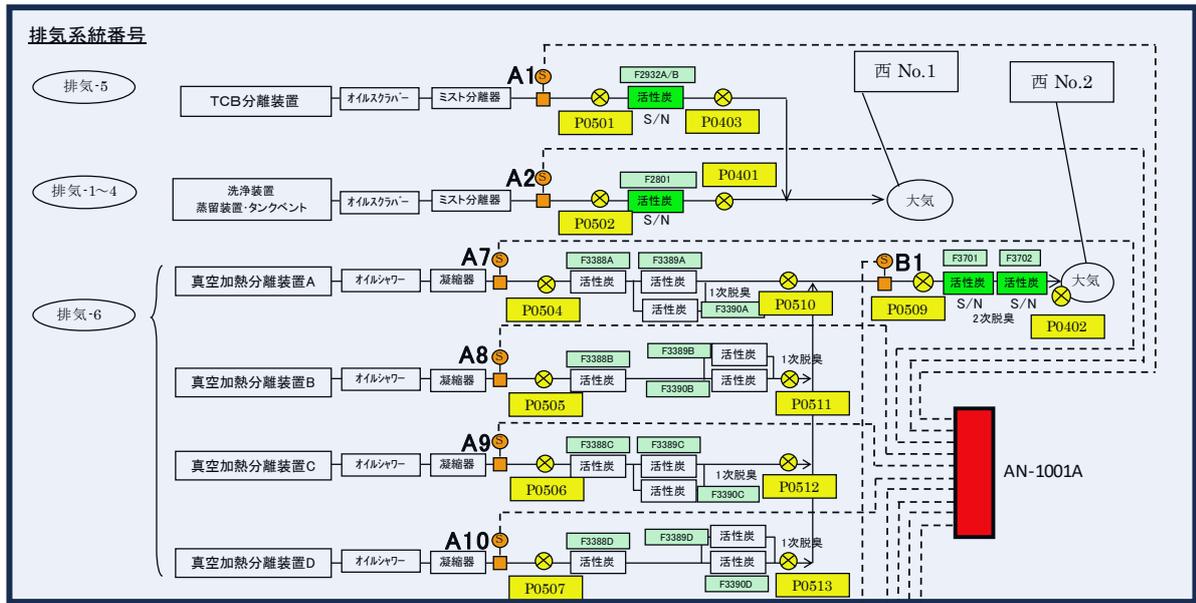


図-3 排気・換気設備の運転（オンラインモニタリング実施期間）

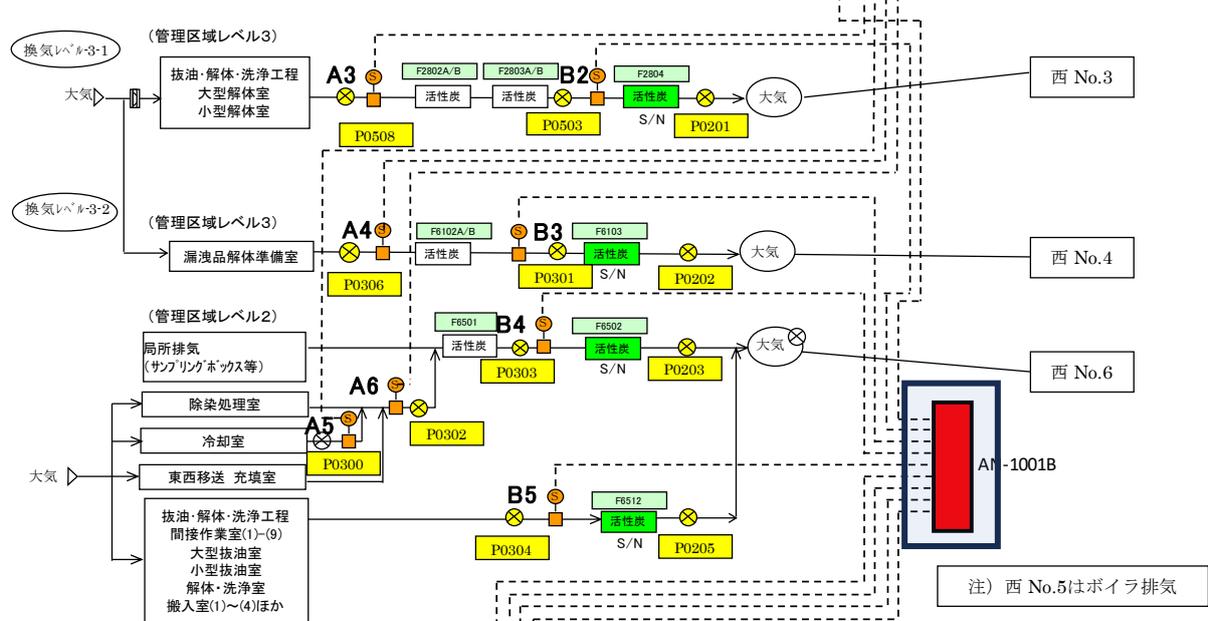


西棟オンラインモニタリング概略系統図

●PCBを取扱う設備の排気



●作業空間の換気

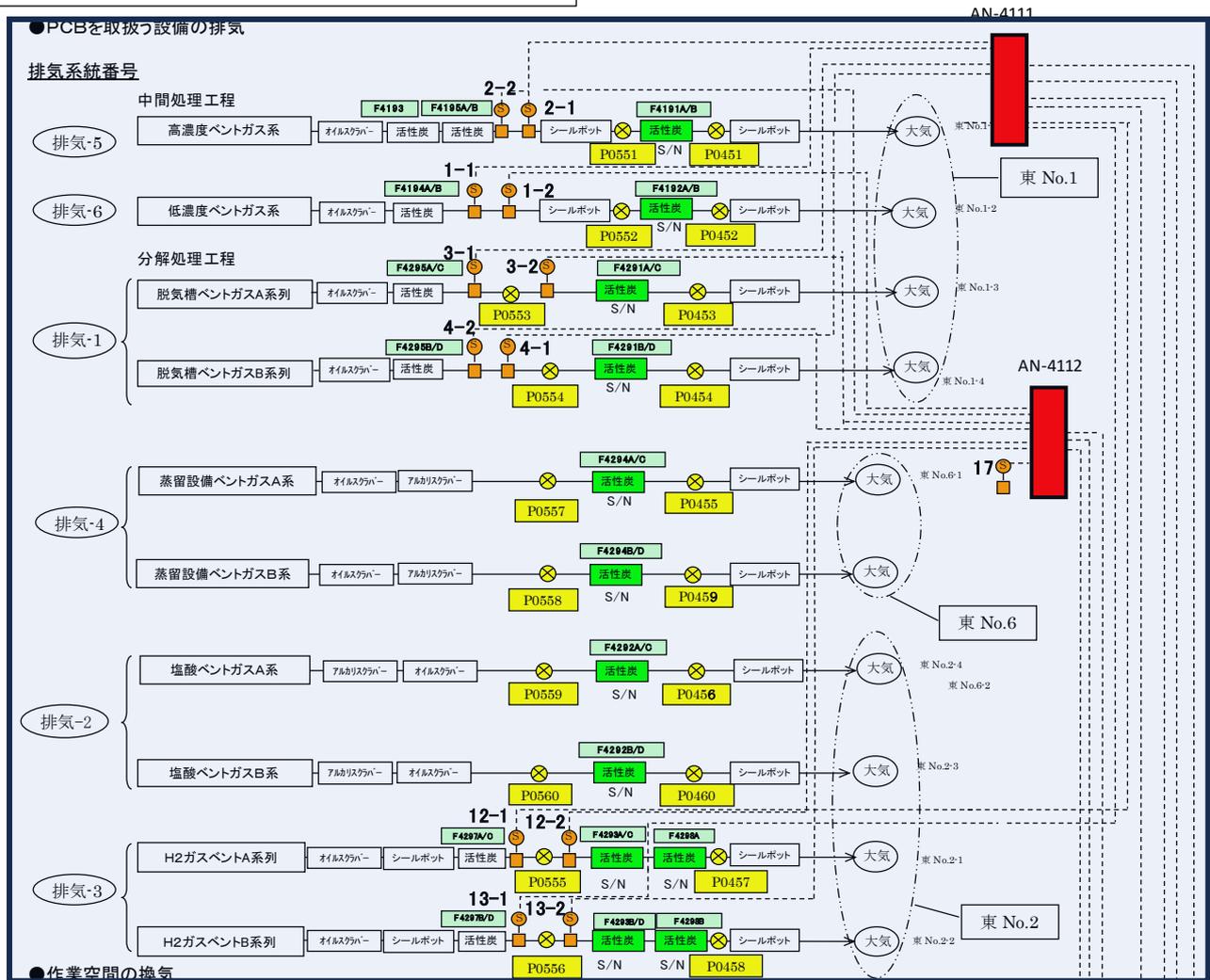


注) 西 No.5はボイラ排気

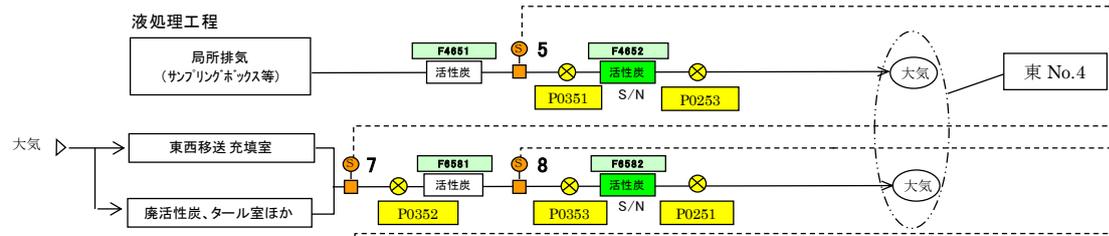
記号説明

	オフラインモニタリング点(サンプリング口)
	オンラインモニタリング点(プローブ管挿入)
	排気口
	サンプリングポイントIDNo.
	活性炭フィルター機器番号
	セーフティネット活性炭フィルター
	脱臭用活性炭フィルター

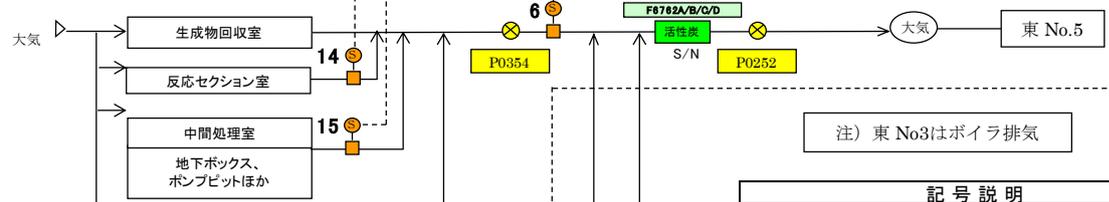
東棟オンラインモニタリング概略系統図



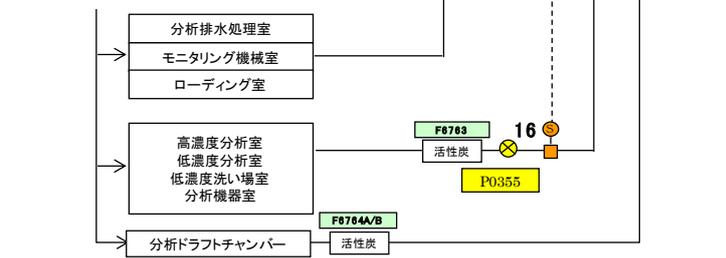
(管理区域レベル2)



(管理区域レベル1)



(一般PCB廃棄物取扱区域)



記号説明	
⊗	オフラインモニタリング点(サンプリング口)
○	オンラインモニタリング点(プローブ管挿入)
⊙	排気口
P****	サンプリングポイントIDNo.
F****	活性炭フィルター機器番号
活性炭 S/N	セーフティネット活性炭フィルター
活性炭	活性炭フィルター